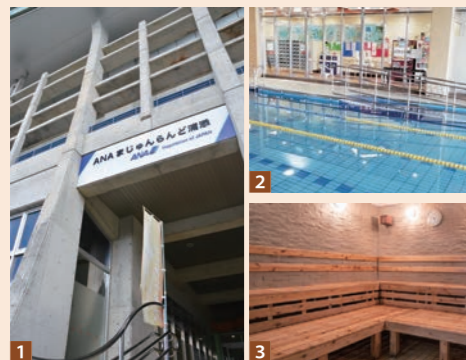


吉濱さんの うらそえ おすすめスポット

【ANA まじゅんらんど 浦添】

ANA SPORT SPARK浦添内にある、健康増進施設です。プールや、多彩なマシンがそろったトレーニングルーム、ダンスレッスンにも使える会議室など、さまざまな目的で利用できます。メイン施設のプールは、歩行専用のプールのほか、サウナやジャグジーもあり、子どもだけでなく大人も楽しめます。ナイト割もあるので仕事終わりにも行けてオススメです!!



1 ANAまじゅんらんど浦添 2 エクササイズや水遊びなど、目的に合わせて8種類のプールが楽しめます。 3 サウナも完備。



特にコシ!



ガッツリ泳いだあとに入るジャグジーは、リラックスできて気持ち良いです。

店舗情報

- 住所/浦添市仲間1-13-1 (ANA SPORTS PARK浦添内)
- 電話/☎(942)4132
- 定休日/年中無休
- 営業時間/午前9時~午後9時30分

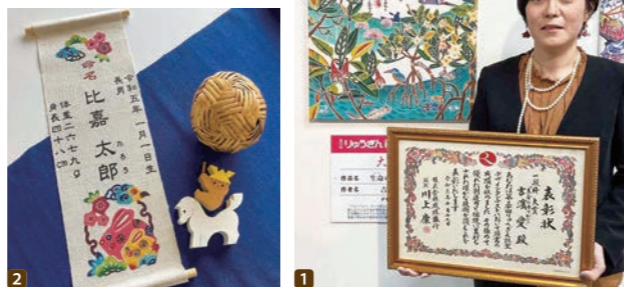
「うらそえWORKER」募集しています!

あなたの周りのうらそえWORKERを募集中です。自薦・他薦は問いません。メールまたはハガキに氏名、年齢、職場名、連絡先、PRポイントを記入の上、国際交流課広報応募係までお送りください。

【送付先】
〒901-2501 浦添市安波茶1-1-1
浦添市役所 国際交流課
E-mail:kouhou@city.urasoe.lg.jp



- 1 第30回りゅうぎん紅型デザインコンテスト「大賞」受賞(2021年)。
- 2 小物ひとつひとつも手作りです。



仕事もプライベートも含めた、人生を楽しむ秘訣!

吉濱さんに3つの質問

Q1 趣味はありますか?

A 洋裁です。きっかけは、高校の同級生10人ほどで結成した「アカペラ婦人会」。工房で観客を招いてアカペラのライブをした時に、衣装を作ることに「洋裁婦人会」も立ち上がりました。今でも友達同士が集まって、おしゃべりしながら楽しく洋服や小物を作ったりしています。



Q2 休日の過ごし方は?

A うつむいて仕事をする事が多いため、肩こりが酷く、それを解消するためにジムに行って体を動かしています。最近からキックボクシングにも通い始めました!!リフレッシュにもなります。

Q3 座右の銘は?

A 「好きこそものの上手なれ」です。今の仕事に繋がっていることですが、仕事が好きだからこそ技術が向上すると思っています。紅型に関しては、一見大変そうに見える型彫りでも、すべての工程が好きです。休日も仕事をするくらい、紅型が好きなので、いかに仕事が好きかということですかね(笑)。



ぐすくびんがたそめこうぼう
城紅型染工房
よしはま あい
吉濱 愛さん(42歳)

「暮らしの中に紅型を」
を「コンセプトに、沖縄の自然と文化を届けたい。」

仕事内容を教えてください。

紅型商品の企画と製作、販売をしています。また、工房や外部のイベントなどで紅型体験の講師もしています。体験は予約が空いていけばすぐにできますが、夏休みの時期は地元の子どもたちがいっぱい来るので忙しいですね。

この仕事に就いたきっかけは?

両親が立ち上げた工房で過ごす事も多く、身近に紅型がある環境で育ちました。小学校までは「伝統IIダサイ」と感じて、そこまで紅型は好きではなく、仕事に就こうとも思っていまいませんでしたが、絵を書いたり、ものづくりがもともと好きだったので首里高校の染織デザイン科に進学を決めました。そこで学ぶ中で、「染色」は伝統工芸に限らず、洋服や椅子のカバーなど、インテリアにも使われていることを知り、身近なものであることに気づきました。グラフィックデザインにも憧れていましたが、人の肌との近さや、紅型の色鮮やかさに魅力を感じ、この道を選びました。

この仕事に就くために努力したことは?

染色に限らず、ものを見る力を身に付ける必要があると思います。芸術を志す

人はデッサンを必ずやらなければならないといけなので、デッサンが苦手な私は、芸大に行くために予備校にも通いましたが、すごく大変でした。絵を書くことが好きなのに、デッサンの壁にぶちあたり、苦労しました。ものを見る力を付けるためにもデッサンは大事ですね。

やりがいを感じるのは?

お客さんに喜ばれることが嬉しいです。リピートされる人が結構多くいて、「もらって嬉しかったから誰かにプレゼントしたい」、「相手の喜ぶ姿を見て、自分も欲しくなった」と言う声をいただく、とてもやりがいを感じます。

また、コロナ禍でお店を休業していた時、紅型は生活に必要な物ではないと思いを不安もありましたが、逆に心の豊かさを求めている人が多く、紅型で癒やされると言う声をいただいた時は、とても嬉しくて、この仕事をやっていてよかったと思えました。

挑戦してみたいことは?

紅型を通して、沖縄の自然や文化を県内外だけではなく、海外の人にも広めたいと思っています。あとは、伝承のためにも、子どもたちに早いうちから紅型に触れてもらえる機会も提供していきたいです。